

IAUD Newsletter vol.10 第6号(2017年9月号)

1. ワークスタイルPJ 2017年度上半期活動報告.....1
2. 住空間PJ「IAUD住宅学生コンペ」開催のご案内.....4
3. IAUDアワード2017募集のご案内.....5
4. IAUD 9月の予定.....5

すべての人が気持ちよく働けるワークスタイル実現を目指して ワークスタイルPJ 2017年度上半期活動報告

多様性のある新たなワークスタイルの発信を目指して活動しているワークスタイルプロジェクトの2017年度上半期の活動を、主査の室井哲也氏に報告させていただきます。



最新の会議ツールを試すPJメンバー

シニアの働き方について調査研究

ワークスタイルPJは、様々な特性をもつすべての人が気持ちよく働ける未来のワークスタイルの実現を目指して活動しています。

過去には、「会議のUD」や「個人認証のUD」について取り組み、その成果を冊子として配布したり、国際会議で発表してきました。

2011年からは、実現すべき未来のワークスタイルのヒントを得るため、現時点で実践されている多様な働き方について、調査研究を行ってきました。

在宅やサテライトオフィスなどで働くテレワーク、同じ会社に属していない人たちが一緒の場で働くコワーキング、仕事の複線化、子連れでの就労、定年後の働き方など、様々な働き方について取り組んできました。

ここ数年は特に、シニアになってからの働き方について注目して活動を行なっています。

「ワークストーリー」で仕事に対する気持ちを調査

2016年12月に開催された「第6回国際UD会議2016 in 名古屋」では、シニアの方々にこれまでの仕事に対する気持ちを調査した結果を報告しました。

政府の統計によると、年金の標準支給開始年齢を超えて、なお働きたいという意思を持っている人が多く居ます。

※内閣府「平成26年度高齢者の日常生活に関する意識調査結果」ご参照

<http://www8.cao.go.jp/kourei/ishiki/h26/sougou/gaiyo/index.html>

また、働く目的は、若いときと同様に「お金を得るため」が一番ですが、高齢になるに連れ、徐々に「生きがいを見つけるため」という気持ちの問題も大きくなってきています。

※内閣府「国民生活に関する世論調査平成 28 年度 7 月」ご参照

<http://survey.gov-online.go.jp/h28/h28-life/index.html>

我々ワークスタイルPJは、「ワークストーリー」というツールを使って、たくさんの人の仕事に対する気持ちを表現してもらったことを行ってきました。

「ワークストーリー」では、横軸に時間軸をとり、働き始めてから現在、その先までを表現しています。一方、縦軸は充実、満足等⇔疲弊、不満等の気持ちの上下を表します。

サンプルとして、4 人の方の「ワークストーリー」を簡略化したものを提示します(下図ご参照)。

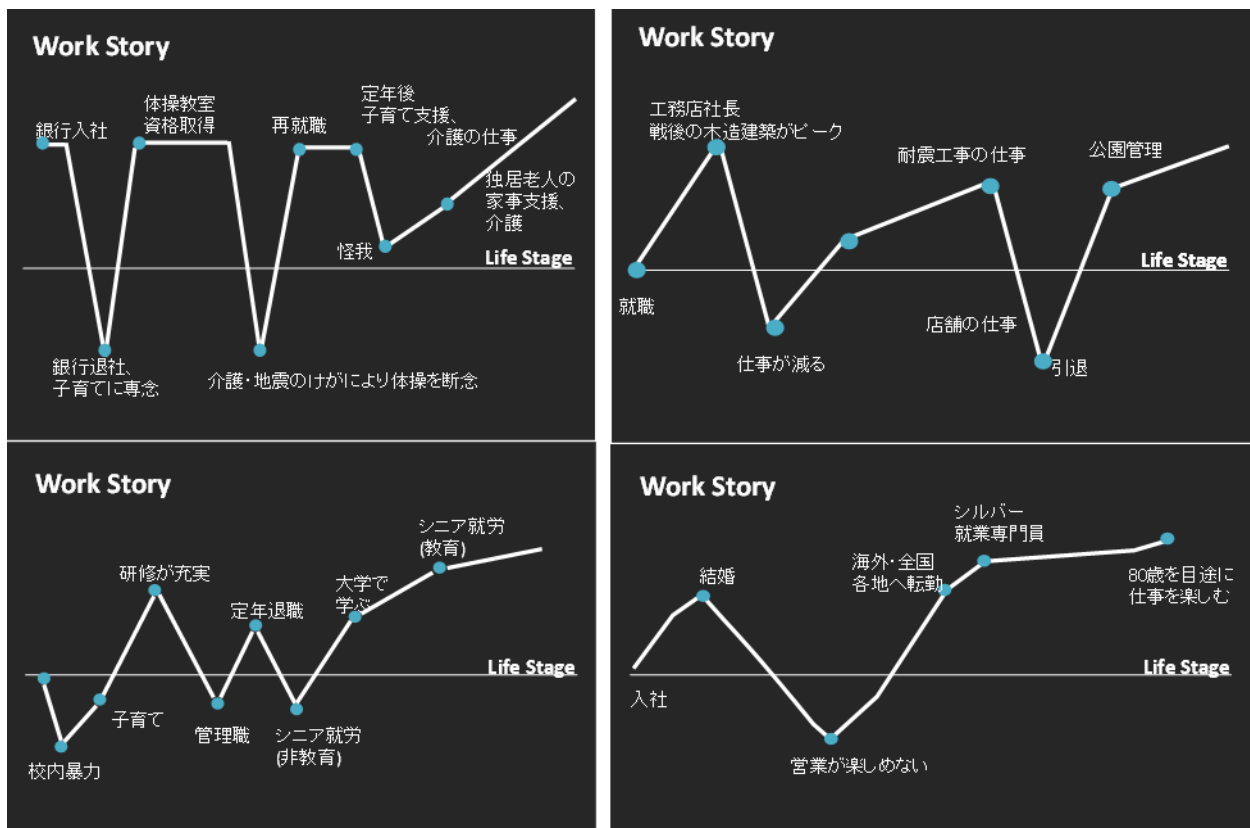
いずれの方も、現役を退かれ、シニアになってからシルバー人材センターで働いている方のものです。

このような「ワークストーリー」を書いてもらいながら、どういったときに、仕事に充実を感じたのか、気力の低下を感じたのか、等のお話を伺ってきました。

こうして、多くの方のお話を伺って、少しずつわかってきたことがあります。

シニアになってからの仕事は、現役時代とピッタリ同じということは稀であり、ほんの少ししか共通点がなかったり、ご本人の持つスキルの中のほんの一部しか活用されていないことが多くあります。

しかし、前職と関連が薄いようでも、過去の経験やスキルが活かしている、と自覚されている方は、現在の仕事に充実を感じているようでした。この気づきが 2016 年度の活動での大きな収穫でした。



ワークストーリーのサンプル

企業側の取り組みも調査

2016年度までは、働く側からの視点だけでしたが、2017年度からは雇用する企業の方にも目を向けることにしました。

近年、政府の働き方改革に呼応するなど、企業側にも変化が出ています。

そこで、高齢者雇用等に積極的な会社である株式会社前川製作所様のシンポジウムに参加しました。

また、ITなど最新のテクノロジーを活用して働き方改革を実践している日本マイクロソフト株式会社様を訪問しました。

■「生涯現役社会の実現を考えるシンポジウム」参加

4月4日(火)に前川製作所(東京・江東区)で開催された「生涯現役社会の実現を考えるシンポジウム」(主催:前川ヒトづくり財団 21)に、PJメンバー2人が参加しました。

日本では、定年が55歳→60歳→65歳と伸びてきていますが、多くの企業では60歳以上の社員の居場所がない、働くモチベーションが低下している、という問題が出ています。この問題をテーマとして、シンポジウムが開催されました。

当日は学習院大学の今野浩一郎先生から「超高齢社員における働き方と雇用管理」について、首都大学東京の藺牟田洋美先生からは「仕事と遊び」についてお話を伺いました。

以下にシンポジウムで印象に残った話を紹介します。

- ・日本の多くの企業では、60歳以上は仕事・成果・能力と無関係に報酬が定められ、福祉的雇用になっており、これが問題である。60歳を過ぎても全力で働くようにするのが良い。
- ・定年を機に、「閉じこもり」になってしまう人が居る。逆に、定年後も仕事ができる人は、会社以外(地域、趣味・ボランティアなど)で繋がりを持っていることが多い。

■「日本マイクロソフト様 品川本社」見学

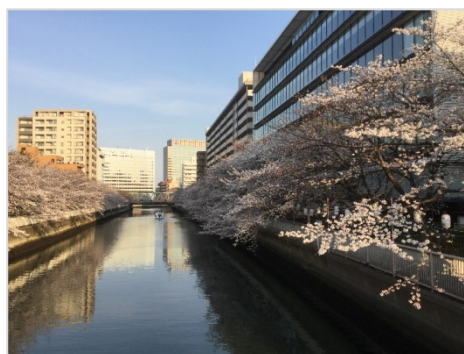
最先端のテクノロジーを活用し、働き方改革を実践している会社である日本マイクロソフト様のオフィス(東京・品川)を6月28日(水)にPJメンバー4人で訪問し、見学させていただきました。

以下に見学後の気づきを紹介します。

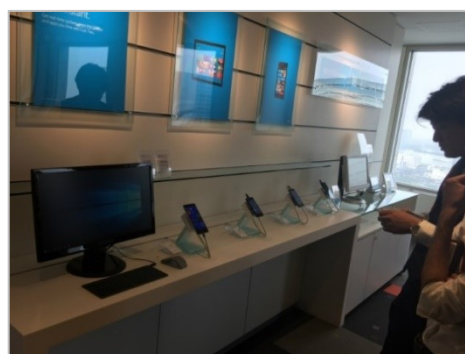
・テレワーク週間

オフィスの机や自宅、外出先等、どこでも同じ生産性で働くことが出来るツールと環境を整え、テレワークができるようにしています。

日本では7月24日に「テレワークデー」が実施されましたが、これに先駆け、数年前から参加者(企業)を募ってテレワーク週間を実践し、そこで発見した新たな課題の解決に取り組んできたそうです。



前川製作所様裏手の桜の見所



最新の表示システム

・オフィススタイル

当たり前のようにフリーアドレス(自分の席を決めずに空いている席で仕事をする)になっており、フレックスタイム制も導入されているとのことでした。

・最新のテクノロジー

AIを活用することで、複数の参加者の共通する時間を探し出して会議を設定することが可能になっていました。

また、電話をかける前に相手の在席や電話可の状態がわかるような仕組みになっていました。

このように、様々な仕組みで効率的に仕事が進められていることがわかりました。

新しい働き方が浸透

過去に、本PJは「もし、働き方を選べるとしたら」というワークショップを開催しました。

※IAUD Newsletter vol.6 第8号(2013年8月号)ご参照

<https://www.iaud.net/newsletter/2530/>

先進的に、テレワーク、コワーキングなどに取り組んでいる人たちのお話を伺いながらも、当時はその働き方がなかなか世の中に受け入れられ、広がっていかない、と感じていました。

しかし、近年はIT技術の発展や社会的な変化でようやく変わってきたように感じます。

まだ明確になっていませんが、新しい働き方におけるUD課題を見つけ出し、解決していこうと考えております。

UD課題の発掘、解決へ

ワークスタイルPJでは、多様な働き方を対象として研究しており、2017年度は企業側の取り組みについても調査しています。

現在までに、高齢者雇用に積極的な企業、最新のIT技術によって働き方改革を実践している企業を訪問してきました。2017年度はこの活動を継続していきます。

そして、UD課題を発掘し、その解決策を2018年度に考えて、PJ目標である「様々な特性を持つ全ての人働きやすいワークスタイルの実現」を目指していきたいと考えています。(了)



これからの日本の住宅を考えよう

住宅学生コンペ「UD プラスの家～『ゼロからつくる日本の住まい』を考える～」開催

誰もが心豊かに暮らせる住空間づくりを目標に、「UD プラス」の考えを推進している住空間プロジェクトは、学生の皆さんにフレッシュで斬新な住まいと暮らし方の提案を募る住宅学生コンペ「UD プラスの家～『ゼロからつくる日本の住まい』を考える～」を開催します。

UD プラスの趣旨に沿っていることを前提に審査し、グランプリには賞金5万円が授与されます。

応募締め切りは10月2日(月)です。皆様の応募をお待ちしております。

詳細は以下のリンクを御参照ください。

<https://www.iaud.net/activity/9039/>



多くの人が快適で暮らしやすい UD 社会の実現を推進 第 1 次審査応募締め切り IAUD 間近！アワード 2017 募集のご案内

IAUD は、UD 社会の実現に向けて、特に顕著な活動の実践や提案を行なっている団体や個人を表彰する「IAUD アワード 2017」を今年も実施いたします。

第 1 次審査の応募締め切りは 9 月 15 日(金)です。皆様の応募をお待ちしております。

「IAUD アワード 2017」詳細は以下のリンクをご覧ください。

<https://www.iaud.net/award/8600/>



「IAUD アワード 2016」表彰式(名古屋国際会議場)



2017 年 9 月の予定

月	火	水	木	金	土	日
				1 13:30～ 標準化研究 WG @IAUD サロン	2 9:00～ UD 検定初級 9:30～ UD 検定中級 14:00～ 48 時間デザイン マラソンプレ ゼンテーション @芝浦工業大学	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12 13:30～ 余暇の UDPJ @IAUD サロン	13	14 10:00～ ワースタイル PJ 14:00～ 衣の UDPJ @IAUD サロン	15 IAUD アワード 2017 第 1 次審査応募 締め切り	16	17
18 敬老の日	19	20	21	22	23 秋分の日	24
25	26	27	28	29 13:00～ 標準化研究 WG @IAUD サロン	30	

次号は 2017 年 10 月発行予定

特集:「第 12 回 48 時間デザインマラソン in 東京」開催報告ほか

IAUD 情報交流センター(IAUD サロン):

〒104-0032 東京都中央区八丁堀 2-25-9 トヨタ八丁堀ビル 4 階

電話:03-5541-5846 FAX:03-5541-5847 e-mail:info@iaud.net